

教育情報誌

まなびの風



船橋市総合教育センター 〒273-0863 船橋市東町834番地 TEL 047-422-7730

プラネタリウム投映機「コスモくん」🪐 ありがとう！ ～船橋市プラネタリウム館 投映機・座席等のリニューアルのため長期休館～



1987年の開館以来、36年間にわたりプラネタリウム館の星空を映し続けたGN-AT型投映機（愛称「コスモくん」）は、11月26日をもってその役割を終えました。リニューアル後は新しい投映機に変わります。多くの方に愛されたコスモくんの星空は、これからもみなさんの心に残ることでしょう。

36年間で延べ86万人以上が来場

市内の幼稚園や保育園、小学校をはじめとする、近隣市の子供たちがプラネタリウム館を訪れ、学習投映を観覧しました。他にも、土日等には市内外のお客様が投映を楽しみました。また、季節の行事に関するイベントや天文講演会等の特別投映でもたくさんの方が来館しました。

コスモくんによる星空を観覧した人数は、36年間で延べ863,537人にもなります。

コスモくんは、今後館内の展示ホールに展示される予定です。



昭和62年の
開館当時の様子

船橋市プラネタリウム館
の情報はここから↓



提供：(株)リブラ

船橋市プラネタリウム館が生まれ変わります！

約4000万個もの星を投映できる最新型の投映機「バンドラⅡ」と、ゆったりと座れる横幅のある座席に変わり、より質の高い投映を楽しむことができるようになります。リニューアル後の情報は船橋市プラネタリウム館ホームページや「広報ふなばし」等で随時お知らせします。



「GN-AT型投映機『コスモくん』卒業式」

11月18日(土)に、「GN-AT型投映機『コスモくん』卒業式」が開催されました。36年間コスモくんの投映に携わってきたゆかりの方をお招きし、その思い出を振り返りました。来館者は、コスモくんの映し出す星空を観覧し、最後の別れを惜しみました。



船橋市の図工・美術教育

船橋市では子供たちが主体的にアートに関わり、心豊かに成長するとともに、生涯にわたり鑑賞や創作活動に参加する素地を育むため、学校と連携した取り組みを進めています。その取り組みの一つとして、本市にゆかりのある芸術家の美術作品を中心とした約600点の所蔵作品を、学校の授業や芸術鑑賞教育に活用しています。他にも、児童生徒が、図工・美術の授業の中で取り組んだ作品を様々な場所で展示するなど、アートにふれる機会を設けています。今号は、その一部を紹介します。

児童生徒の作品展

夢・アート展

夢・アート展は、夢や願いを作品に表すことを通して、豊かな情操を養うことを目的としています。ふなばしアンデルセン公園内の「子ども美術館」を会場として、毎年、夏休み中に開催しています。小・中・特別支援学校の児童生徒が制作した絵画作品、約600点を展示しています。



船橋市小・中・特別支援学校造形作品展

船橋市小・中・特別支援学校造形作品展は、「子供たちの色・形・夢」をテーマとして、豊かな情操を養うとともに創造的表現力の伸長を図ることを目的として開催しています。毎年2月に開催し、約4000人の市民が訪れる美術の展覧会です。船橋市民ギャラリーを会場として、児童生徒が授業の中で制作した、立体的な作品約1600点を展示しています。



アートにふれる機会

対話を通じて“美術鑑賞の楽しみ方”を学ぶ

学校と連携した事業として、展覧会に向けた事前授業、見学会での学芸員による「対話型鑑賞」を行っています。「対話型鑑賞」は先生や学芸員から作品についての知識や情報などを一方的に聞くのではなく、児童生徒が主体的に「見る」「考える」「話す」「聞く」「発見する」ことをキーワードに、描かれたものから作品の意味を探るグループワークです。友達の発言から新たな気づきが生まれます。



ふなばしアートカードを活用した授業

「ふなばしアートカード」は所蔵作品の中から船橋市ゆかりの作品や名画などをカードにしたオリジナルの美術教材です。カードを使ったアクティビティを通して、作品を「見る、考える、話す、聞く」の言語活動を促し、美術鑑賞の基礎を楽しく学びます。

（公財）船橋市文化・スポーツ公社では令和4年度から「対話型鑑賞教室」としてアートカードを活用したグループワークを行う授業を市内の小学校で展開しています。



鑑賞から制作へ

『私の船橋ストーリー』 ～所蔵作品を活用した美術教育について～

「私の船橋ストーリー」は令和3年度から始まった所蔵作品を活用した図工・美術の授業プログラムです。この授業プログラムでは、写真家・北井一夫氏が80年代の船橋市を撮影したシリーズ作品〈フナバシストーリー〉を、子供たちがパソコンやタブレットで鑑賞した後、自分たちの写真作品を制作します。令和5年度は、12月に開催する市所蔵作品展において、授業プログラムを実施する4校の児童生徒の作品を展示します。





見つめようふるさと・広めよう友情の輪

～船橋市・津別町青少年交流事業～



平成元年からスタートし、船橋市と津別町の子供たちがお互いの街を行き来する船橋市・津別町青少年交流事業が4年ぶりに、令和5年8月6日～9日にかけて北海道網走郡津別町にて実施されました。本市の子供たちは主催の船橋市少年少女団体連絡協議会の指導者のもと、森林体験をはじめとした様々なプログラムを通じて仲間や津別町の子供たちと交流を深めました。令和6年度は、津別町の子供たちが船橋市に来る予定です。

津別町の子供たちとの対面式と交流会

津別町の子供たちとの対面式を行いました。自己紹介やレクリエーションを行い親睦を深めました。



木工プログラム

様々な形の木片やビーズなどを使ってオリジナルキーホルダーを作りました。



網走川体験プログラム

当日は残念ながら雨が降ってしまい、川下りを実施することができませんでしたが、公民館でボートの乗り方等のレクチャーを受けました。



農業体験・森林体験

パプリカやトマトを収穫したり、採集したエゾマツなどの葉から芳香蒸溜水を作ったりしました。



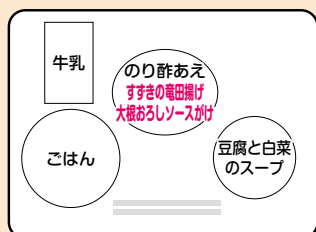
わが校の給食自慢レシピ 八木が谷小学校編



『すずきの竜田揚げ』 ～大根おろしソースがけ～

材 料 (4人分)

すずき(50g程度の切り身)..... 4切れ
しょうゆ..... 大さじ1 (18g)
酒..... 大さじ1 (15g)
大根(すりおろす)..... 2cm程度 (60g)
かつお節(だし用)..... 1g
水(だし用)..... 1/4カップ (50ml)
みりん..... 小さじ2 (12g)
A 酒..... 小さじ1 (5g)
しょうゆ..... 小さじ2 (12g)
かたくり粉..... 適量
油..... 適量



八木が谷小学校 学校栄養職員 三津越 千絵

作り方

- ① すずきに、しょうゆ、酒を振り、30分程度おき、下味をつける。
- ② 大根をすりおろす。
- ③ かつおだしをとり、Aの調味料を入れ、煮立たせる。
- ④ ③に②の大根おろしを加え、再び煮立たせ、火を止める。
- ⑤ ①のすずきに片栗粉をつけ、揚げる。揚げあがりに、④をかける。

レシピ紹介



12月の船橋産の旬の食材は、大根です。大根は、品種改良が進み、年間を通して全国各地で出回ります。その中で、冬の船橋の大根は、甘みがあり、このレシピの大根おろしソースも、辛みがおさえられているので、子供たちにも食べやすく、本校で人気の料理になっています。

葉にはカルシウムや鉄が多く含まれています。葉も食べれば、栄養摂取とともに、食品ロス削減にもつながります。

寒さがきびしくなるこれからの時期、船橋の大根は、特におすすめの食材です。

